

外国人台帳制度に関する懇談会（第1回）議事概要

- 1 開催日時：平成20年4月17日（木）10：00～11：45
- 2 開催場所：総務省 低層棟 1F 共用会議室3
- 3 出席委員：藤原座長、角委員、坂井委員、竹腰委員、中西委員、長岡委員、日高委員、細越委員、山脇委員、吉岡委員

4 主な議題：

- 懇談会の運営について
- 現行の制度について
- 適法な在留外国人の台帳制度の検討の状況について など

5 議事の概要：

- (1) 岡本自治行政局長挨拶
- (2) 懇談会運営要綱の説明（事務局）…資料1
- (3) 藤原座長挨拶
- (4) 事務局説明
 - ・ 現行の制度（外国人の入国・在留管理の流れ、外国人登録制度、住民基本台帳制度など）…資料2～資料5
 - ・ 適法な在留外国人の台帳制度の検討の状況（新たな在留管理制度に関する提言、適法な在留外国人の台帳制度についての基本構想など）…資料6～資料8
- (5) 意見交換等
 - ・ 現行の在留管理制度の問題としていわれる「二元的」な情報の把握の意味について確認がされ、法務省が行う出入国管理と、市町村が法定受託事務として行う外国人登録という2つの制度に基づいて、各々外国人に係る情報を把握・管理している旨を説明。
 - ・ 基本構想にある「(情報のやりとりについて) 電子的に行う方策を検討する」については、1つは法務省と市町村、もう1つは市町村間という2つの電子的な情報の流れについて検討が必要。

- 基本構想にある「新制度への円滑な移行のために必要な措置」については、現行の外国人登録原票から新しい台帳への切替えに際して、移行期の経過措置のような検討が必要となるのではないか。
- 懇談会の検討内容については、遅くとも平成21年通常国会までには関係法案の提出を行うというスケジュールをふまえて整理していくことが必要。

(以上)